

彦春町茜

日本共和国臨時政府

治安警察

の謎

日本共和国臨時政府

「治安警察の謎」

著者：茜町春彦

概要：大人向けのWEB絵本です。

また、これはフィクションです。実在の人物・団体等には一切関係がありません。



あちゃちゃちゃ、失敗失敗、失敗しちゃったわ。
逃げなきゃ。



「パタパタパタ・・・」

廊下を走る足音が聞こえるわ。

書斎のドアを施錠して・・・このマイクロカードは取り敢えずもらっておいて・・・窓から庭へ出て・・・塀を乗り越えちゃいましょう。



深夜だけど、駅へ行きます。駅前に自転車を止めてあるのよ。

私は抵抗戦線完全独立派のメンバーなんだけど、井上に収賄の疑惑があるっていう情報を掴んだので、独りで探りに入ったわけ。みんなにいいところを見せようと思って、ちょっと先走っちゃったかな。

あとで怒られちゃうかも。うちのリーダー、二言目には総括総括って、ちょっとウザイのよね。

操り人形の綽名を持つ井上が傀儡政権首班に返り咲いた事に、以前から怪しさを感じてたのよね。昼間のうちに下見を済ませて、暗くなってから井上の私邸に忍び込んでみたところ、軍服専門の衣料メーカーである帝国ユニフォームとの癒着を示す収賄の証拠を見つけた、と思った途端に警報が鳴っちゃった。

想定内だけどね、まあ、そう云うこと。



それから最近矢鱈と官房府が国民を煽っているじゃない、近隣国と武力衝突するかも知れないってさ。

だけどそれってさ、軍服メーカーがバックに付いていたからなのね。憶測だけど・・・

軍服の売上げを上げるために、兵隊の数を増やしたい。

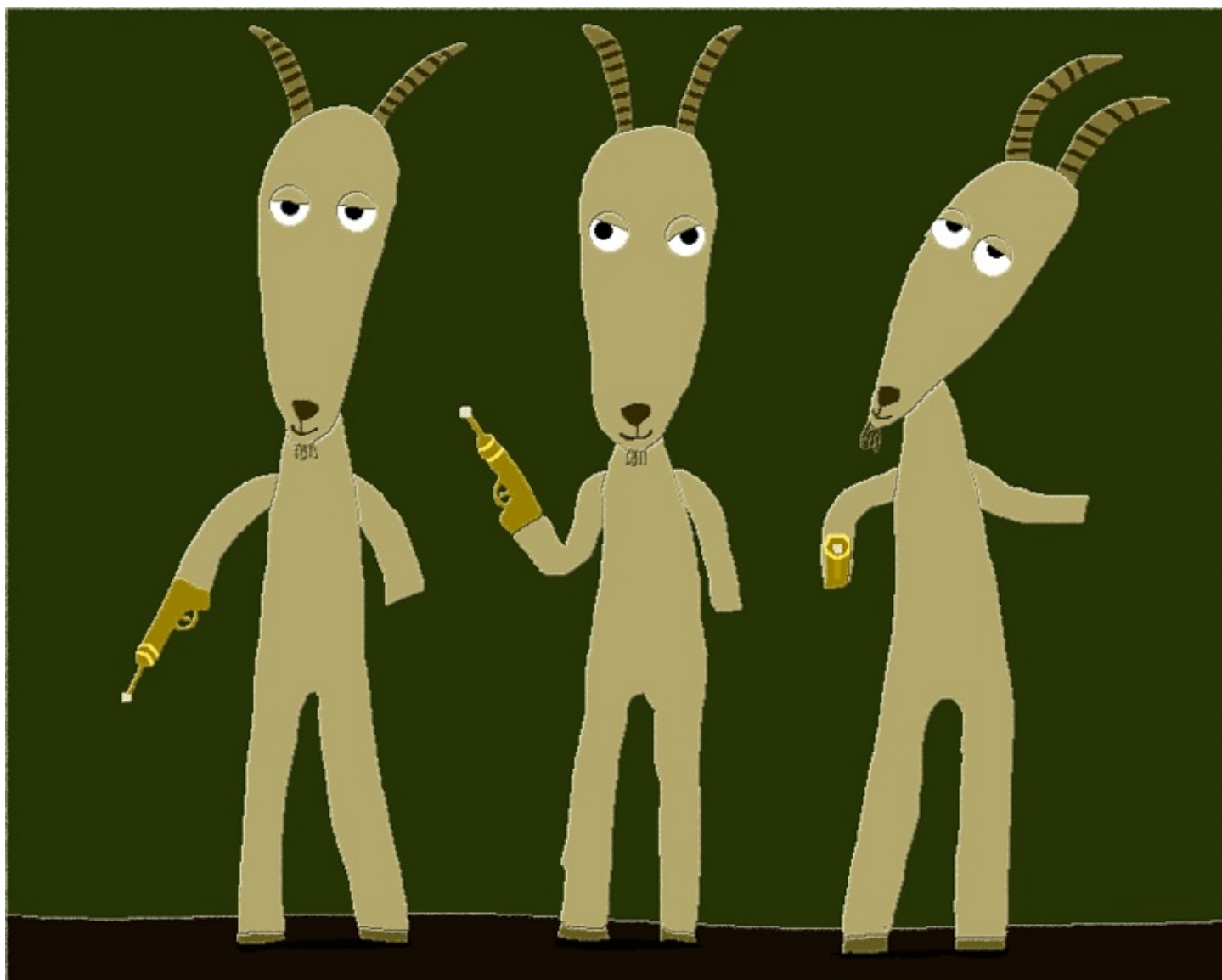
兵隊の数を増やすには、徴兵制を導入すれば良い。

徴兵制を導入するには、過半数の議員に賛成させればよい。

過半数の議員に賛成させるには、金をバラ撒けばよい。

そのために、井上に裏金を渡した。

・・・そんなことを考えていたら、公園の前まで来たのよ。



迂回するより駅への近道だから公園に入って、そして通り抜けようとしたの。

すると、3人の山羊男が近づいて来たじゃない。奴等は多世界量子銃で武装していたのよ。通称Qガン。私に銃口を向けたわ。

「なんであんたら、Qガンなんて持ってるのよ」

「我々は治安警察だ」「これから貴様の身体検査を行う」「頭のとっぺんから爪先まで舐めまわすようにな、けけけ」

「治安警察なんて聞いたことないわよ。一体何者なの」

「治安警察だ」「正義の味方だよ」「とても優しい3人組さ」

「じゃーそれで、どう云う用件かしら」

「隠している物を出してもらおう」「早く出しな」「別にゆっくりでもいいぜ、時間は掃いて捨てるほどある」

「あんたたち帝国ユニフォームの社員？」

「治安警察だ」「この国に井上ほど腰の低い政治家はいない」「以前、我々が奴をヒーヒー言わせてからだけどな」

「もしかしたら、あんたら駐留軍じゃないの？」

「治安警察だ」「治安警察だ」「治安警察だ」

「不忍池を埋め立てて、駐留軍専用レストランを移転させようと、官房府に圧力を掛けている噂は聞いているけど・・・あんたたち駐留軍でしょ」

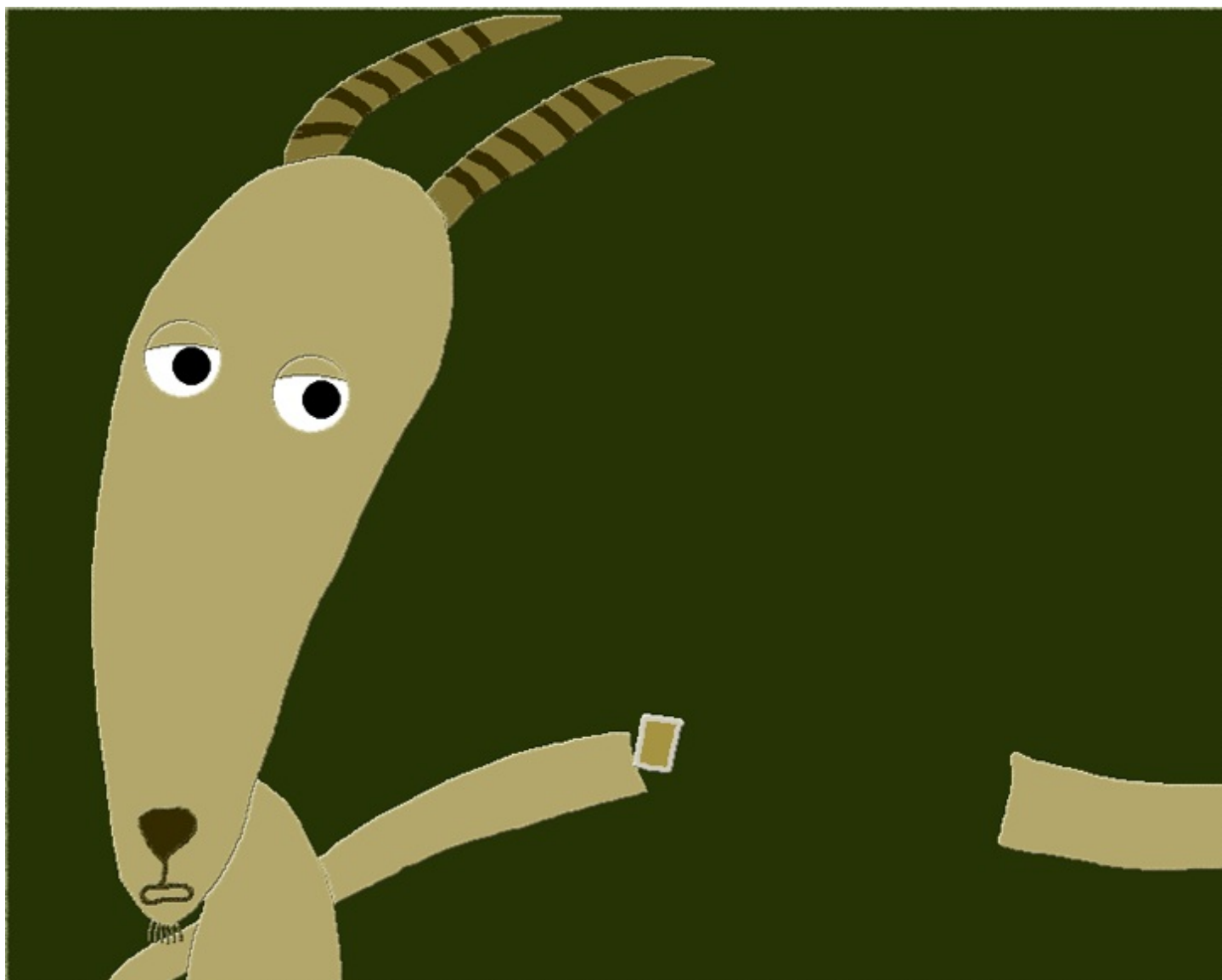
「治安警察だ」「今の時点で、井上を失脚させるわけにはいかないのさ」「へへへ」



そして山羊男たちは、私に向かって踊れと言ったのよ。

あたしは、踊ったわ。2人が纏わりついて来たわ。それでも踊り続けたわ。

仕方ないじゃない。私は踊ったのよ。



「マイクロカード、発見」「よし」「撤収」

書齋から持って来たマイクロカードは取り上げられちゃった。



3人は闇に消えるように立ち去ったわ。

あたしは、力が抜けてヘタリ込んだわ。

井上の後ろ盾は帝国ユニフォームじゃなくて、駐留軍。きっとそうだわ。

一度は政治の表舞台から消えた井上が、なぜ再び咲くことが出来たか理解できるし・・・軍人じゃなけりゃQガンなんて扱えないじゃん。治安警察なんて言ってたけど、駐留軍の憲兵か何かだと思っわ。

だけど、今回はチョット残念だわね、井上の正体を明るみに出せるところだったのに・・・まあ、次は頑張るわよ・・・あっ、早く逃げなきゃ。

(了)

後書き

CG画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

- ArtRage 3 Studio Pro アンビエント社
- Photoshop Elements 10 アドビシステムズ株式会社

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行なっております。また、下記WEBサイトに於いても、デジタル作品を公開しております。

- ピクシブ
- カクヨム
- エブリスタ
- はてなブログ
- 楽天Kobo電子書籍ストア
- Facebook ページ
- YouTube
- BOOTH

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2019年4月6日発行

日本共和国臨時政府「治安警察の謎」

<http://p.booklog.jp/book/126569>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/126569>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト